

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和5年4月号



令和五年四月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区
醍醐東大路町二十二
電話〇七五―五七―一〇〇〇二

今月の掲載内容

- ・ コロナ後の進むべき道は 1
- ・ 録事 2
- ・ 宗派だより 3
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・ 本庁からのお知らせ 3
- ・ 醍醐寺からのお知らせ 3

コロナ後の進むべき道は

先月十三日よりマスクの着用が原則個人の判断に委ねられ、息苦しいマスク生活を離れ（花粉症の人は引き続き?）、また、来月八日には感染症法上の分類が二類から季節性インフルエンザや風疹と同じ第五類に引き下げられるなど、ようやく新型コロナウイルスに世界中が翻弄された約三年間に終わりが近づいてきたように思います。

新型コロナウイルスは人の往来とともに世界中はもとより、日本国内でも爆発的な感染者を生み出し、不要不急の外出自粛や行動制限、営業時間の短縮や食事の人数制限等など、今までの当たり前が当たり前でなくなり、新聞記事では毎日、新規感染者数と重症者数、亡くなられた方の人数を発表。クラスターが起こった職場や病院、学校などでは感染者が出た場所や人数、日にちがスマホで表示され、感染者が多い都道府県の車のナンバーを見つけては入店拒否や、マスク警察という一般市民による自警団?が出てくるなど、殺伐とし

た状況が続いたかと思う一方、感染対策の一環として置かれたパーテーションはもとよりリモートによる授業や会議など、新しい生活様式を生み出し、今では当たり前の光景になったかもしれません。ただ、対話を重視し人と人とのコミュニケーションを大事にしてきたお寺にとっては、感染症で亡くなられた方が感染防止のためにビニール袋に入れられ、当初は親族でさえも最後のお別れができず、また檀家寺にとっても従来の葬送儀礼ができず寺離れの要因の一つになったと考えられます。

地域の過疎化や寺離れは着実に進んでおり、墓じまいや小さなお葬式といったCMが放映され、今まで以上に苦しい対応を迫られる寺院も出てくるかと思われしますが、心の温もりを求めている人々に対してこの時代（世間）に寺の門戸を開き「あなたのお話をお聞かせください」というのも、ひとつの生き残る手立てかもしれません。

告 諭

本日ここに、第七十五次定期宗会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご多忙な中、ご登山下さり誠に有り難うございます。長く、世界中に混乱をもたらした新型コロナウイルスの流行も、ようやく一つの節目を超え、新たな段階へと、歩を進め始めました。醍醐派も、この機をとらえ、大きく前進しなければなりません。

本年は弘法大師ご生誕千二百五十年の記念すべき年であり、立教開宗千二百年にもあたります。醍醐寺においても来年は開創千百五十年を迎えます。

これらの慶事を前に、信心各位の現状を知り、我々醍醐派教師が、何をすべきかを、真剣に考えなければならぬ本年です。

宗会議員の皆様方は、本年六月に任期が満了いたしますが、今後も真言宗醍醐派の進むべき方向に対し、ご意見を頂ければ、幸いです。最後に、議員各位のご健勝を祈り、告諭といたします。

令和五年三月十四日

真言宗醍醐派管長

大僧正 仲田 順和

録事

▼僧階昇補

本宗籍

令和四年十一月二十三日

権少僧正 奈良

十二月五日 少僧都 大阪

令和五年一月十五日 権大僧都 高知

権中僧都 高知

修験籍

令和四年十一月二十三日

権中僧正 京都入峰会

▼住職・主管者任命

令和五年一月二十一日

奈良 來迎院

▼責任役員任命

令和五年一月十九日

新潟 祇興院

三月 三重 福満寺

三月 三重 護願寺

一月二十一日 奈良 來迎院

二月二日 鳥取 青龍寺

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 善光寺

二月十一日 兵庫 世義寺

鳥取 不動院

二月十二日 美作

二月十六日 岐阜 宝泉院

二月二十日 京都 一音寺

二月二十日 三重 両宝院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十一日 美作 金龍寺

二月二十一日 美作 金剛寺

二月二十一日 三重 聖衆寺

令和五年一月十九日 三重 護願寺

令和五年一月二十一日 奈良 來迎院

二月二日 鳥取 青龍寺

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

二月四日 三重 京造院

岡本村 仲一

山本村 晴隆

神浦 兼嘉

神浦 佳代

篠田 幸子

壁瀬 美穂

壁瀬 宥雅

松井 秀宗

山名 啓圓

上野 慶子

小藪 実明

小藪 実英

高橋 俊明

増成 守彦

中井 宏典

中井 寛修

梅田 圭子

中井 美満

山中 善円

山中 富愛

二月九日 兵庫 善光寺

二月九日 鳥取 大善寺

二月十一日 三重 世義寺

二月十一日 鳥取 不動院

二月十二日 美作 清楽院

二月十二日 美作 清楽院

二月十六日 岐阜 宝泉院

二月十八日 京都 松尾寺

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

二月二十日 京都 繁昌院

小橋 輝男

北村 真純

北村 良実

平田 郁子

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

北村 真純

二月二十一日
三重 聖衆寺
水谷 八郎
水谷 正明
加藤 利一
加藤 功

二月二十四日
京都 上願寺
鈴木 紘一
西岡 良祐
植村 嘉典
福田 旭

二月二十五日
三河東部 大聖寺
樋口 宇生
二月二十六日
京都 大聖寺
牧野 博行
村田 正俊
小橋 武生

▼承認・証明
令和四年十一月三十日
東京(直) 大行院
規則変更承認の件

令和五年二月二日
三重 飯福田寺
寺有財産証明書下付の件

二月五日
福岡 大森 龍寶
師僧替承認の件

二月二十八日
新潟 (丸塚快現より加藤龍範へ変更)
頼寶院
宗教法人解散の件

▼死亡
令和五年二月十五日
三河西部 大善寺住職
中僧都 朝岡 有教
(同日付にて大僧都に贈補)

二月十八日
備中 豊福寺住職
権律師 大杉 道則
(同日付にて律師に贈補)

宗派だより

第八十回「同宗連」研修会
令和五年二月八日(水)・九日(木)
会場 京都府立城南勤労者福祉会館
参加者 飯田俊海

末寺・教会・醍醐寺だより

節分会
令和五年二月三日(金)
午後一時 護摩祈願 伽藍 清瀧宮
五大力尊仁王会
前行 令和五年二月十五日(水)
午後三時 開白
令和五年二月二十一日(火)
午前十時 結願 伽藍 金堂
仁王会 令和五年二月二十三日(木・祝)
午前九時 金山

本庁からのお知らせ

総務部より

寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。
また、責任役員・総代に欠員が生じた場合は、選定の届け出が必要になります。
宗務本庁では、任期満了になられる寺院・教会に届け出のご案内をいたしております。速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

この度、辞令等に押印しておりました印を劣化のため新調いたしました。令和五年四月一日より使用いたします。ご報告いたします。

財務部より

宗費賦課金をご納入いただきまして、誠に有り難うございます。
令和五年度分宗費賦課金は、六月以降にご請求させていただきます。

本宗教師・修験道教師の方で銀行引き落とし(個人宗費に限りません)に登録されている場合は、八月二十八日(月)の引き落としとなります。
各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願いいたします。

教学部より

令和五年四月二十五日(火)
午前十時 醍醐山伝法学院 第九十一回卒業式
令和五年五月八日(月)
午前十時 醍醐山伝法学院 第九十二回生入学式
令和五年五月十日(水)
三宝院流得度式 三宝院本堂

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。
現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

醍醐寺からのお知らせ

令和五年五月十日(水) 三宝院流得度式
午前十時 三宝院 本堂
令和五年五月十五日(月)
午前十時三十分 准胝観音御開扉開白法要 伽藍 観音堂
令和五年五月十八日(木)
午前十時三十分 准胝観音御開扉中日法要 伽藍 観音堂
令和五年五月二十一日(日)
午後二時 准胝観音御開扉結願法要 伽藍 観音堂

【お詫びと訂正】

「神慶」宗派だより三月号三頁上段
末寺・教会・醍醐寺だよりの「後七日御修法」の記事の中で「供僧：三重・大法院 住職 岩鶴密雄権大僧正」は、「供僧：三重・別格本山 大宝院 住職 岩鶴密雄権大僧正」の誤りでした。
ここに謹んでお詫びし、訂正いたします。

<p>大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-1043 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-1004 FAX (0747) 64-1007</p>	<p>林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-1224 FAX (075) 255-1663 E-mail hayashikan@beach.ocn.ne.jp</p>	<p>井筒法衣店</p> <p>〒600-18468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 365-1000 FAX (075) 353-1702 フジヤル 0120-1075-1730</p>	<p>田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-1258 FAX (075) 341-1882 http://www.tanakaiga.com</p>
<p>松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-1559 https://www.shoyeidoco.jp</p>	<p>今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正南入 TEL (075) 561-1030 FAX (075) 525-1255</p>	<p>上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上る TEL (075) 221-1334 FAX (075) 211-1858</p>	<p>土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1132 FAX (075) 313-1852 www.tsuchiyanama.co.jp</p>
<p>和光印刷株式会社</p> <p>〒602-10012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-1540 FAX (075) 441-1498 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p>杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-1289 FAX (075) 341-1677</p>	<p>山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-1936 FAX (075) 343-1550 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p>大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-1308 FAX (075) 221-1303 E-mail oosumihou@gmail.com</p>

醍醐山伝法学院寮監並びに僧侶職員募集

- 1 僧籍を有する方で、健康で信仰心があり、後進の育成に努力を惜しまない方
- 2 給与 17万円以上
- 3 住居を用意（山内居住の場合は居室を用意。）また、通勤の場合は交通費を一部支給
- 4 休日は年間75日、有給休暇法令通り付与
- 5 健康保険、厚生年金加入
- 6 勤務地は総本山醍醐寺
※募集要項詳細はお問い合わせください。

京都市伏見区醍醐東大路町22 総本山 醍醐寺

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、
<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ（ログインが必要*）では、神変別冊のアーカイブ（過去号）をご覧になれる、必要書類のダウンロードや寺院・教会名簿も閲覧できますので、ご利用ください。

*宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145 です。